

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成20年2月14日 (2008.2.14)

【公表番号】特表2007-529648(P2007-529648A)

【公表日】平成19年10月25日 (2007.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2007-041

【出願番号】特願2007-504100(P2007-504100)

【国際特許分類】

D 0 2 G 3/44 (2006.01)

D 0 2 G 3/04 (2006.01)

D 0 3 D 15/00 (2006.01)

D 0 3 D 15/12 (2006.01)

A 4 1 D 13/00 (2006.01)

【F I】

D 0 2 G 3/44

D 0 2 G 3/04

D 0 3 D 15/00 D

D 0 3 D 15/12 Z

D 0 3 D 15/00 1 0 1

A 4 1 D 13/00 J

A 4 1 D 13/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月21日 (2007.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 4 0 ～ 7 0 重量パーセントのモダクリル繊維、
 (b) 5 ～ 2 0 重量パーセントの p - アラミド繊維および
 (c) 1 0 ～ 4 0 重量パーセントの m - アラミド繊維
 を含んでなり、前記パーセントが、成分 (a) (b) および (c) を基準とするアーク防
 護用および防災用の糸。

【請求項 2】

糸を含んでなるアーク防護用および防災用に適切な布帛であって、
 糸が、さらに、

(a) 4 0 ～ 7 0 重量パーセントのモダクリル繊維
 (b) 5 ～ 2 0 重量パーセントの p - アラミド繊維および
 (c) 1 0 ～ 4 0 重量パーセントの m - アラミド繊維
 を含んでなり、前記パーセントが、成分 (a) (b) および (c) を基準とする布帛。

【請求項 3】

(a) 4 0 ～ 7 0 重量パーセントのモダクリル繊維
 (b) 5 ～ 2 0 重量パーセントの p - アラミド繊維および
 (c) 1 0 ～ 4 0 重量パーセントの m - アラミド繊維
 を含んでなり、前記パーセントが、成分 (a) (b) および (c) を基準とする、アーク
 防護用および防災用に適切な衣服。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

【表 1】

	実施例 1	実施例 2	実施例 3	実施例 4
坪量 (opsy)	9.0	8.7	9.6	8.7
厚さ (ミル)	34	37	40	33.9
摺み試験 破断強度(lbf) たて糸/よこ糸 D5034-95	215/158	189/163	205/164	160.2/132.3
トラペゾイド引裂 (lbf)たて糸/よこ糸 D5587-03	33/28	23/18	28/21	19/15
テーパー摩耗 (サイクル)CS-10/1000g ASTM D3884-01	1578	1293	3143	974
TPP (cal/cm ²) NFPA 2112	15.2	15.3	16.3	13.5
垂直燃焼 (インチ)たて糸/よこ糸 ASTM D6413-99	3/3.2	3.1/3.6	2.9/3.0	3.1/3.6
アーク評価 (cal/cm ²) ASTM F1959-99	9.2	11.4	17.6	9.6

本発明の好適な実施態様は次のとおりである。

1. (a) 40～70重量パーセントのモダクリル繊維、
(b) 5～20重量パーセントのp-アラミド繊維および
(c) 10～40重量パーセントのm-アラミド繊維
を含んでなり、前記パーセントが、成分(a)(b)および(c)を基準とするアーク防
護用および防災用の糸。
2. (a) 55～65重量パーセントのモダクリル繊維、
(b) 5～15重量パーセントのp-アラミド繊維および
(c) 20～35重量パーセントのm-アラミド繊維
を含んでなる上記1に記載の糸。
3. さらに(d)耐摩耗性繊維を含有する上記1に記載の糸。
4. 耐摩耗性繊維が、成分(a)、(b)、(c)および(d)を基準として、2～
15重量パーセントの量で存在する上記3に記載の糸。

5. 耐摩耗性繊維が、ナイロンである上記3に記載の糸。
6. さらに帯電防止成分を含有する上記1に記載の糸。
7. 帯電防止成分が、糸全体の1～5重量パーセントの量で存在する上記6に記載の糸。
8. 帯電防止成分が、炭素もしくは金属繊維を含んでなる上記6に記載の糸。
9. 帯電防止成分が、炭素を含んでなる上記8に記載の糸。
10. 糸を含んでなるアーク防護用および防災用に適切な布帛であって、
糸が、さらに、
 - (a) 40～70重量パーセントのモダクリル繊維
 - (b) 5～20重量パーセントのp-アラミド繊維および
 - (c) 10～40重量パーセントのm-アラミド繊維を含んでなり、前記パーセントが、成分(a)(b)および(c)を基準とする布帛。
11. 糸が
 - (a) 55～65重量パーセントのモダクリル繊維
 - (b) 5～15重量パーセントのp-アラミド繊維および
 - (c) 20～35重量パーセントのm-アラミド繊維を含んでなる上記10に記載の布帛。
12. さらに(d)耐摩耗性繊維を含んでなる上記10に記載の布帛。
13. 耐摩耗性繊維が、成分(a)、(b)、(c)および(d)を基準として、2～15重量パーセントの量で存在する上記12に記載の布帛。
14. 耐摩耗性繊維が、ナイロンである上記12に記載の布帛。
15. さらに帯電防止成分を含有する上記10に記載の布帛。
16. 6インチ未満のASTM D-6413-99に基づいた炭化長を有する上記10に記載の布帛。
17. 少なくとも0.8カロリー/平方センチメートル/opsyのASTM F-1959-99に基づいた耐アーク性を有する上記10に記載の布帛。
18. 耐アーク性が、少なくとも1.2カロリー/平方センチメートル/opsyである上記17に記載の布帛。
19.
 - (a) 40～70重量パーセントのモダクリル繊維
 - (b) 5～20重量パーセントのp-アラミド繊維および
 - (c) 10～40重量パーセントのm-アラミド繊維を含んでなり、前記パーセントが、成分(a)(b)および(c)を基準とする、アーク防護用および防災用に適切な衣服。
20.
 - (a) 55～65重量パーセントのモダクリル繊維
 - (b) 5～15重量パーセントのp-アラミド繊維および
 - (c) 20～35重量パーセントのm-アラミド繊維を含んでなる上記19に記載の衣服。
21. さらに耐摩耗性繊維を含有する上記19に記載の衣服。
22. さらに帯電防止成分を含有する上記19に記載の衣服。